

北海道のインフラを支える技術者の育成を考える

～北海道技術者育成プラットフォームシンポジウムを開催～

北海道開発局は、関係機関や学識経験者と共に、「令和4年度北海道技術者育成プラットフォームシンポジウム」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

「北海道技術者育成プラットフォーム」は、人手不足が深刻化する中、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成を目的に、各機関が有するノウハウを活かして産学官が連携して取り組む枠組みです。

建設業就業者の高齢化と若手技術者が不足し、年齢構成の偏りや人手不足が深刻化している中、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成が急務となっています。課題解決に向けて、最先端・画期的な研究を行っている室蘭工業大学大学院の岸徳光特任教授からご講演をいただき、若手技術者の学習意欲向上や建設業の魅力発信に資するため、シンポジウムを開催いたします。

記

日 時 : 令和5年2月1日(水) 14:00～15:30

場 所 : TKP札幌駅カンファレンスセンター 3F(ホール3A)

(札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴェオフィス札幌3階)

※会場参加とオンライン配信(Zoomウェビナー)を併用したハイブリッド方式での開催

内 容 : 別添1のとおり

備 考 : シンポジウムに参加を希望される方は、別添1記載の当プラットフォームホームページから1月26日(木)までにお申し込み願います。

※取材を希望される報道関係者の方は、別添2により、メール又はFAXにて
1月30日(月)17時までにお申し込み願います。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発企画官 山下 香(内線5472)

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 角谷 昌樹(内線5476)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和4年度 北海道技術者育成プラットフォーム シンポジウム

開催日/2023年 2 月 1 日(水)
14:00～15:30※13:30受付・開場
場所/TKP札幌駅カンファレンスセンター ホール3A
札幌市北区北7条西2丁目9
ベルグオフィス札幌
オンライン配信併用のため、どこから
でも気軽にご参加いただけます。
参加無料
事前申込制

北海道のインフラを造り・守る技術者の育成を考える

建設業就業者の高齢化と若手技術者が不足し、年齢構成の偏りや人手不足が深刻化しているなか、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成が急務となっている。この課題解決に向けて、最先端・画期的な研究を行っている研究者からご講演をいただき、若手技術者の学習意欲向上や建設業の魅力発信に資する。

PROGRAM

■開会挨拶

北海道技術者育成プラットフォーム会長 三上 隆

■講演(70分)

「道内橋梁の維持管理技術と補修補強法に関する最新の話題」

室蘭工業大学大学院 工学研究科
もの創造系領域 社会基盤管理工学講座
特任教授 岸 徳光 氏(KISHI Norimitsu)

■プラットフォーム紹介

国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課長 井田 泰蔵

■閉会挨拶

北海道技術者育成プラットフォーム副会長
一般社団法人北海道建設業協会副会長 栗田 悟



会場・申込み等

- 対面会場への参加とオンライン配信を併用したハイブリッド方式による開催とします。
- 対面会場:定員30名(先着順)・オンライン配信:定員200名
- 申込方法:当プラットフォームHP(<https://hokkaido-etpf.jp/symposiums/>)より申込願います。令和5年1月26日(木)17時 締切
- シンポジウム会場には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用願います。
- 公益社団法人土木学会継続教育(CPD)プログラム認定
:CPD1.5単位(認定番号JSCE22-1587)

講師プロフィール

- 1972年 室蘭工業大学工学部土木工学科卒
- 1977年 北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修士
工学博士
電力中央研究所入所
- 1982年 室蘭工業大学建設システム工学科助教授
- 1985年 文部省在外研究員(パーデュー大学)
- 1988年 室蘭工業大学建設システム工学科教授
- 2007年 国立大学法人室蘭工業大学理事
- 2008年 国立大学法人室蘭工業大学理事・副学長
- 2009年 室蘭工業大学大学院教授
- 2012年 釧路工業高等専門学校校長
- 2018年 釧路工業高等専門学校名誉教授
室蘭工業大学大学院工学研究科もの創造系領域
社会基盤管理工学講座特任教授

後援

公益社団法人土木学会北海道支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会北海道支部
公益社団法人日本技術士会北海道本部、インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム

主催・問合せ

【主催】:北海道技術者育成プラットフォーム

- 【事務局】 国土交通省 北海道開発局 開発監理部・事業振興部
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
北海道建設部
一般社団法人 北海道建設業協会
一般財団法人 北海道建設技術センター
一般財団法人 北海道道路管理技術センター
- 【事務局担当】 国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課 担当:角谷
- 【問合せ先】 メール:hokkaido-etpf@rmec.or.jp (メール担当 事務局 名越)

【HPのご紹介】

当プラットフォームHPでは、土木技術者育成のための研修プログラムや学習教材をご紹介します。
当プラットフォームへご入会のうえご利用ください。

詳しくは下記アドレスまたは右QRコードよりご確認ください。
<https://hokkaido-etpf.jp/>



北海道開発局 開発調整課 宛

(F A X : 011-709-9215)

(Email : hokkaido-etpf@rmec.or.jp)

申 込 書 (報道関係者)

「北海道技術者育成プラットフォームシンポジウム」の傍聴・取材を希望する場合は、本様式により、上記宛先までメール又は F A X でお申込みください。

申込締切は、1月30日（月）17：00です。

■会社名及び部署名

■傍聴・取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

②

③

④

■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）

有 ・ 無

■連絡先（代表者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、当会合に関する連絡以外では使用いたしません。

参 考

北海道技術者育成プラットフォームの概要

北海道技術者育成プラットフォームの概要

目的

産学官が連携して、北海道総合開発計画の推進並びに強靱で持続可能な国土の形成に不可欠な技術者の育成を行うことを目的として平成31年3月設立。

役割

育成に関するプログラムを提供しつつ、各団体と情報共有・連携を行いノウハウを共有し技術者の育成を支援。

事業

- ・技術者育成に関する調査・研究
- ・技術者育成に関する教材の企画及び開発
- ・技術者育成に関する研修及び講習の実施
- ・会員が実施する研修及び講習の支援並びに情報の共有

ターゲット: 若手技術者、小規模自治体技術者、土木工学を専攻していない入職者 等

会員: 北海道技術者育成プラットフォームの設立趣旨、目的に賛同し入会登録を行った団体または個人

会費: 当面は無料

運営体制

プラット
フォーム
(総会)

- ・1回／年 全会員
- ・会則に関すること、事業の改廃、役員の選任、予算決算 など

役員会

- ・会長、副会長、事務局
- ・議決事項の執行、事業内容の企画 など

事務局

- ・北海道開発局、寒地土木研究所、北海道、北海道建設業協会、北海道建設技術センター、北海道道路管理技術センターで構成
- ・会の運営に関する庶務、実務

技術者育成に関する
教材の企画及び開発

※各HPアクセス数: 令和4年12月31日現在

学習教材ライブラリー

ホームページにテキストを掲載し、インターネットを通じて自己学習の機会と教材を提供
北海道開発局で使用した研修テキスト、プラットフォーム講習会資料を掲載

HP開設以来アクセス数等

総アクセス数 : 5, 611件

テキストDL数: 2, 872件

研修及び講習の支援
並びに情報の共有化
会員が実施する

ホームページの運営

技術者育成に関する情報の共有のため、平成31年3月25日にホームページを公開

講演会等の案内

各会員団体が主催する講演会等の案内を掲載

HP開設以来アクセス数等

総アクセス数 : 16, 984件

派遣講師リストの提供

外部機関が実施する研修等へ派遣可能な「講師一覧」を掲載

HP開設以来アクセス数等

総アクセス数 : 1, 064件

※各HPアクセス数は令和4年12月31日現在

※各受講者数: 令和5年1月23日現在

講習会

インフラ施設の業務に関連する最近の話題や先進的な取組みの情報を提供するなど、若手土木技術者等のスキルアップを図ることを目的とした講習会を実施

設立以降 のべ受講者数(10開催)

企業等 522社 1, 069名

官公庁 176団体 215名 が参加

研修会

実務経験が浅い若手土木技術者を対象に、社会基盤の維持・点検等の業務に関連する分野の基礎知識等の再履修の機会を提供し、若手土木技術者のスキルアップを図ることを目的とした研修会を実施

第1回研修会 受講者数

企業等 31社 55名

官公庁 18団体 23名 が参加

シンポジウム

「北海道のインフラを造り・守る技術者の育成を考える」をテーマに、技術力の向上や土木技術者の育成に活用可能な講演などを令和元年度より年1回の頻度で開催

設立以降 のべ受講者数(2開催)

企業等 171社 250名

官公庁 10団体 48名 が参加

技術者育成に関する
研修及び講習等の実施
※土木学会継続教育(CPD)認定プログラム

令和4年度開催事例 1/2

講習会

【第1回】

開催日時：令和4年9月30日(金)

受講者：150名(オンライン)

講義分野：港湾、共通



『港湾新技術』

国土交通省 北海道開発局

港湾空港部 港湾建設課 岩田開発専門官



『積雪寒冷地における冬期土工の留意点』

土木研究所寒地土木研究所

寒地基礎技術研究グループ

寒地地盤チーム 佐藤特任研究員

【第2回】

開催日時：令和4年12月7日(水)

受講者：116名(オンライン)

講義分野：共通、道路



『国土交通省北海道開発局における
インフラ分野のDX、i-Constructionの推進』

国土交通省 北海道開発局

事業振興部 技術管理課 矢野企画係長



『構造力学に学ぶ鋼橋点検の留意点及び
鋼アーチ橋の基礎知識』

北海道大学名誉教授

当プラットフォーム 三上会長

【第3回(予定)】

開催日時：令和5年1月23日(水)

受講者：一名(オンライン)

講義分野：道路、農業、河川

(予定講義名及び講師)

『冬期における国道の維持管理に
関する最近の話題』

国土交通省 北海道開発局 建設部
道路維持課 高山道路防災対策官

『スマート農業と通信インフラ
に関する基礎知識』

国土交通省 北海道開発局
農業水産部 農業計画課 加藤課長補佐

『河川の維持管理について』

北海道 建設部 建設政策局
維持管理防災課 原田課長補佐

受講者の声

「参加しやすいので引き続き参加していきたい。」「専門分野外であったが大変新鮮な講義で有意義。」「建設業を取り巻く現状、課題について再認識することが出来た。」「この業界では自分たち若者が新しい技術を覚えて、これからの建設業を担う存在になることが大事だと感じた。」

研修会

- 令和4年11月8日～9日の2日間、北海道技術者育成プラットフォーム**始動後初**となる「令和4年度 北海道技術者育成プラットフォーム研修会」を開催いたしました。
- 本開催では「道路基礎技術」を講義テーマとして、北海道大学大学院・北海道科学大学の教授などを講師陣に研修カリキュラムを編成。
- 当初、対面会場定員40名にて申し込みを受付したものの、受付開始早々に定員に達し、増席の要望が非常に高かったことから、サテライト会場を新たに設け、両会場併せて約80名の道内地方自治体・民間企業などの技術者に受講いただきました。



『研修会開催の目的と意義』
講師：北海道開発局 開発監理部
開発調整課 課長 井田 泰蔵 氏



『北海道の道路概要、橋梁の維持管理』
講師：北海道開発局 建設部 道路維持課
道路防災対策官 高山 博幸 氏



『北海道の地理・地質と気候特性』
『橋梁構造の基礎知識』
講師：北海道大学大学院
教授 蟹江 俊仁 氏



『舗装の基礎知識』
講師：北海道科学大学
教授 亀山 修一 氏



『道路土工構造物の基礎知識』
講師：北海道大学大学院
教授 石川 達也 氏



『鋼橋の基礎知識』
『コンクリート橋の基礎知識』
講師：北海道大学大学院
教授 松本 高志 氏

受講者の声

- 日々の業務で断片的に学習していたことが繋がる良い機会となった。
- 専門的・広範囲でありながらなんとかついていける**濃厚な講義**。
- 理解度確認クイズは**良い復習**になった。
- 何度も見返したいと思うほど**資料がとてもよかった**。

アンケートの結果などを踏まえ、研修構成のブラッシュアップを図りつつ、次年度以降も年度1回の開催を予定しております。

北海道のインフラを造り・守る

技術者の育成を支援します。



StepUp を目指します!

会員数
個人:79名
団体:46組織
(令和4年12月31日現在)

当プラットフォームへの会員登録（会費は当面無料（個人・団体とも））をお願いしております。

ご入会いただきますと…

- 個人学習用の教材や過去の講習会動画・資料が閲覧可能
- 研修会等開催時のメールでの個別ご案内、会員先行申込

等の特典がございます。

くわしくは <https://hokkaido-etpf.jp/>

